



news release

(ご参考：翻訳)
2004年4月29日

FOR IMMEDIATE RELEASE
2004年4月28日

TSX/NYSE/PSE: MFC; SEHK: 0945

マニユライフ・ファイナンシャルおよびジョン・ハンコックの合併が正式に成立 北米第2の巨大生命保険会社が誕生しました

トロント – 必要な認可の取得がすべて完了したことから、本日をもって、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションおよびジョン・ハンコック・ファイナンシャル・サービスズ・インクに、同社のカナダ子会社であるマリタイム・ライフ・アシュアランス・カンパニーを加えた3社の合併が正式に成立しました。これに伴い、ジョン・ハンコックはマニユライフ・ファイナンシャルの子会社のひとつとなりました。

2004年4月28日の取引終了をもって、ニューヨーク証券取引所におけるジョン・ハンコック株式の取引は停止されます。約675,000名のジョン・ハンコックの普通株式株主には、ジョン・ハンコック普通株式1株と交換に1.1853株のマニユライフ普通株式を受け取る権利が与えられています。なお、ジョン・ハンコックの株主は、本合併契約締結に関して2004年2月24日に開催された株主総会において、賛成票が95%を超えるという圧倒的多数で本合併を承認しています。

今回の合併により、既存契約の保険金・給付金、保険料、積立額あるいは保証に変更が生じることはありません。

ドミニク・ダレッサンドロ社長兼CEOは次のように述べています。
「マニユライフ・ファミリーの一員となられた、ジョン・ハンコックおよびマリタイム・ライフのお客様、販売代理店そして従業員の皆さん、さらには、ジョン・ハンコックの旧株主の皆様を心より歓迎いたします。合併により新たなビジネスおよび人的・物的資源が加わることで、『世界で最もプロフェッショナルな生命保険会社となる』という当社ビジョンの実現が一層促進されるものと確信します」

世界をリードするグローバルな保険企業

カナダ史上最大の国際的取引となった本合併の成立により、マニユライフは、2004年4月27日現在の株式時価総額ベースで、カナダ最大の株式上場会社そして生命保険会社となるとともに、北米地域および世界においても、それぞれ、第2位および第5位を占める生命保険会社となりました。

世界本社をカナダのトロントに置く、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの社長兼CEOにはドミニク・ダレッサンドロ氏が就任しました。同じくCOOには、デビッド・ダレッサンドロ氏が就任、ドミニク・ダレッサンドロ氏の直属として統合化プロセスを統轄していきます。同氏はまた、マニユライフの次期社長への就任が予定されています。なお、デビッド・ダレッサンドロ氏はボストンに本社を置くジョン・ハンコック・ファイナンシャル・サービスズ・インクの会長兼CEOを兼務します。デビッド・ダレッサンドロ氏は本合併の1周年経過時点でマニユライフの社長に就任することになっています。CEOについては、引き続き、ドミニク・ダレッサンドロ氏が留任する予定です。

カナダのハリファックスに本社を置くマリタイム・ライフはマニユライフのカナダ事業部門に統合され、ジョン・ハンコックと共に、デビッド・ダレッサンドロ氏の統轄下にあるマニユライフの北米事業部門の一翼を担います。

「今回の合併により、当社は世界有数の保険企業に生まれ変わりました。お客様には、様々な購入方法をご提案し金融・保障商品の幅広い品揃えの中から最もふさわしい商品をお選びいただけるようになりました。また、株主の皆様にはより高い成長と株主価値の増大を実現し、従業員の皆様にはグローバル企業でのキャリア開発の機会を提供していきます」とデビッド・ダレッサンドロ氏は述べ、次のように結んでいます。

「統合化を進める中で、合併各社の強みを最大限に生かし、既存ビジネスの組織的成長を推進していきます」

マニライフ・ファイナンシャルについて

マニライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界 19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業活動を進め、グループの職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルおよびその子会社が管理運用する資産は 2004 年 3 月 31 日現在試算ベースで 3,559 億カナダドル (2,716 億米ドル) となっています。

マニライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所 (TSX)、ニューヨーク証券取引所 (NYSE)、フィリピン証券取引所 (PSE) においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所 (SEHK) では「0945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ (www.manulife.com) をご覧ください。

ファクト・シート (英文) は同社ホームページ www.manulife.com からご入手いただけます。

詳細な情報をご希望の方は以下にお問い合わせ下さい:

報道関係者からのお問い合わせ先:

Donna Lindell

Tel: (416) 926-5226

donna_lindell@manulife.com

投資関係者からのお問い合わせ先:

Edwina Stoate

Tel: 1-800-795-9767 or (416) 926-3490

Investor_relations@manulife.com

または

Peter Fuchs

Tel: (416) 926-6103

peter_fuchs@manulife.com

将来の見通しに関する記述

当ニュース・リリースには、当社に関わる将来の見通しに関する記述、例えば、当社の財務成績および財務状況のみならず、当社の事業運営および戦略に関する表明が含まれています。これらの記述が将来の見通しを含むものであることは、一般的に、将来に関して以下の用語を使用していることから判別できます。: 例えば、「しれない」、「だろう」、「期待する」、「意図する」、「予測する」、「見込む」、「信じる」および「引き続き行う」もしくは、これらの否定用法または類似の用語を指します。当社マネジメントは、これら将来の見通しに関する記述で表明する期待は妥当なものであると確信するものですが、これらの見通しはリスクおよび不確実性を伴うものです。従って、実際の結果が、これら将来の見通しに関する記述で表明もしくは暗示したものから大きく異なる可能性があります。当社の期待とは大きく異なる結果を実際に引き起こしうる要因の内、重要かつ特筆すべきものを以下に掲げます: 世界各地の一般的経済状況、マーケット要因、例としては、資本市場の世界的な活動、金利および通貨価値変動、事業上の競合、各国政府の法令・規制もしくは税法の改定、テクノロジーの変化、当社商品およびサービスに対する消費者需要の変化、営業チャンネルの販売能力の拡充および育成による収益増大の実現、当社の戦略的買収における遂行能力および買収企業の統合化能力、大惨事、政局および政局の進展ならびに国際紛争。投資家の皆様におかれては、当社の将来の業績に影響を及ぼし得る当社事業上のリスクおよび不確実性、ならびに、米国証券取引委員会に提出されている、マニライフの最新年次報告書を含むフォーム 40-F、ジョンハンコックの最新年次報告書を含むフォーム 10-Kに記載されている同様のリスクおよび不確実性をご検討の上、投資判断を下していただきますようお願いいたします。また、投資家の皆様には、当社の将来の展望に関する記述に過度に依存することのないようあらかじめご注意申し上げます。当社はこの「将来の見通しに関する記述」について更新することを約束するものではありません。